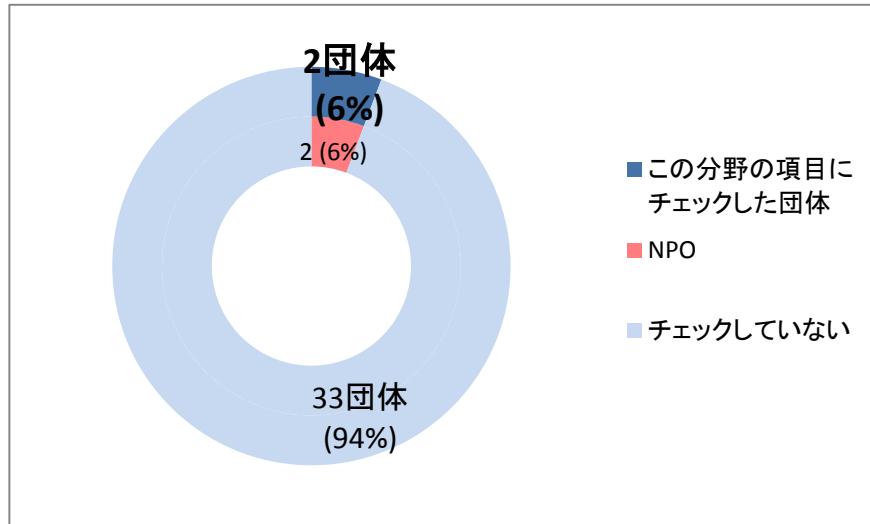


【活力あふれるまち】

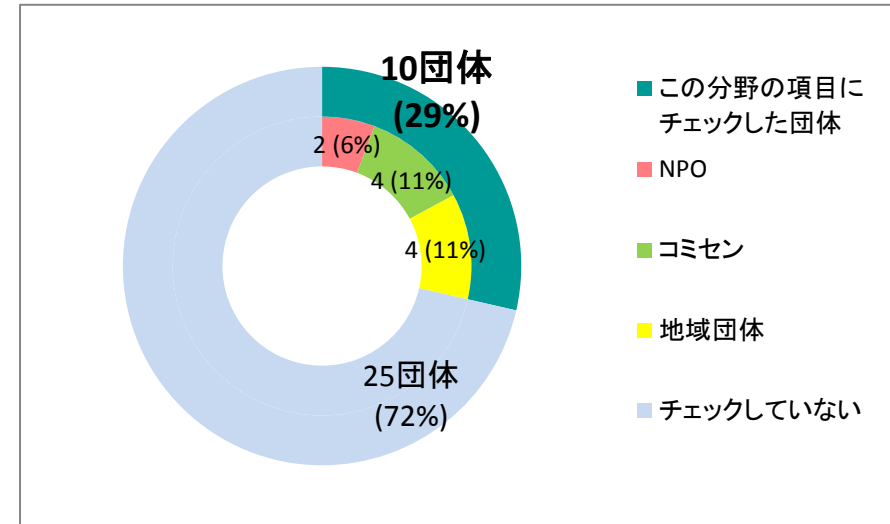
まちの活力＝産業振興の視点となっているが、現在注力する関係者の少なさが表れたビジョンとなっている。

大項目	項目	現在活動している			今後取り組みたい		
		NPO	コミセン	地域団体	NPO	コミセン	地域団体
一次産業の活性化	後継者不足解消	2				4	4

現在取り組んでいる



今後取り組みたい



考察:

・ビジョン項目が少ないことが要因と思料されるが、「現在取り組んでいる」と「今後取り組みたい」どちらも他の分野と比較して最も回答が少ない。加えて、現在取り組んでいるのはNPOのみとなっている。他方、「今後取り組みたい」についてはコミセン、地域団体どちらからも回答があり、まちの活力が地域にとって必要な柱であると各団体が認識していることがわかる。

・「現在取り組んでいる」団体が少ない理由については、以下のような要因を推察する。

- ①収益性のある事業を行うことを主たる目的としている団体が多くないこと。またその実績・ノウハウがないこと。
- ②産業振興の支援については各種制度等専門的な知識・情報を要するため、行政・金融機関・公益法人等が担っていること。
- ③ヒアリングの手続き上の問題。具体的なアクションとして例示した項目が各団体の活動と合致しないため、チェック項目から除外されたことが考えられる。例えば、サロンで手仕事品を製作し販売を行う事業等、間接的に産業振興に関わる団体があった可能性がある。

・以上を前向きに捉えると、まちの活力に関して多少なりとも「今後取り組みたい」と回答する団体があることは、今後の各団体間の連携の伸びしろがあると捉えることもできる。